



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	スペイン語比較級構文más queとmás deの意味解釈
Author(s)	山下, 好孝
Citation	北海道大学留学生センター紀要, 2, 13-27
Issue Date	1998-12
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/45559
Type	departmental bulletin paper
File Information	BISC002_003.pdf



スペイン語比較級構文 más que と más de の意味解釈

山下 好孝

要 旨

スペイン語の比較級構文には más que と más de の2つが存在する。どちらも英語の more than に相当するわけだが、その使い方には微妙な差が存在する。本稿では más que と más de の意味的、統語的な違いについて説明を試みる。次にそれらの否定形である no más que と no más de を比較する。結論として más que 構文は純然たる比較構文であるのに対し、más de 構文は「数量詞」と見なせることを主張する。

〔キーワード〕 スペイン語、比較級、数量表現

1. 序

筆者がスペイン語を習い始めた頃、初級作文の教科書の中に「フアンは私より多くの本を持っている。」という問題があった。そこで筆者は「フアンは私の本より多くの量の本を所持している」と解釈し、以下のような解答を示した。

- 1) *Juan tiene más libros que mis libros.¹⁾ (フアンは私の本より多くの本を持っている。)

もちろん担当の教官はこの文に朱を入れ、正しい答えを示した。

- 2) Juan tiene más libros que yo. (フアンは私より多くの本を持っている。)

そして、ある基準量以上の数量を表す時は más que ではなくて、más de を使うと説明した。

3) Juan tiene más de 30 años. (フアンは30歳以上である。)

さらに、この基準点が数学的なものではなくて、抽象的な思考である場合にも más de が使われるとつけ加えた。

4) Juan es más inteligente de lo que parece. (フアンは外見よりも賢い。)

このように自分が教えられてきた通りに筆者もスペイン語を教えてきたのだが、最近比較級に関して様々な細かい疑問点が現れてきた。例えば、más que と más de の使い分けはそれほど明解なものであるのだろうか。比較級の意味解釈はそれほど単純なものなのだろうか。本稿は上記の2構文の違いを意味的、統語的に考察することを目的とする。

2. más que

単純な比較の構文であっても、使用される形容詞によって意味解釈の仕方がことなる場合がある。例文5)を見てみよう。

5) a. Juan es más alto que Carlos. (フアンはカルロスより背が高い。)

b. Carlos es menos alto que Juan. (カルロスはフアンより背が低い。)

これらの文の意味解釈の可能性として、相対的ではない絶対的な基準は次のようになるであろう。

6) JUAN : es alto, o es bajo. (背が高い。背が低い)

CARLOS : es alto, o es bajo. (背が高い。背が低い)

ところが5)と同種であると思える7)の文は、これと異なる意味解釈を受ける。つまり、絶対的な基準は8)のようになり、両者とも「背が高い」ということはあり得ないのである。

7) a. Carlos es más bajo que Juan. (カルロスはフアンより背が低い。)

b. Juan es menos bajo que Carlos. (フアンはカルロスより背が高い)

8) JUAN : es bajo. (背が低い)

CARLOS : es bajo. (背が低い)

このような意味解釈の差は alto と bajo という二つの形容詞の意味素性の差に求めなければならない。つまり、alto は「無標 unmarked」の形容詞であるのに対し、bajo は「有標 marked」であるということである。別の言語、例えば英語では、「彼はどのくらいの背の高さか」と聞くのに、

9) How tall is he?

とは言えるが、

10) *How short is he?

とは言わないこととも対応関係がある。同様の差を持つ形容詞の対に、bueno, malo がある。そして例文11), 13) の絶対的な意味解釈はそれぞれ12), 14) となる。

11) Un Toyota es mejor que un Honda. (T社の車はH社の車より良い。)

12) Un Toyota : es bueno, o es malo. (良い。悪い。)

Un Honda : es bueno, o es malo. (良い。悪い。)

13) Un Honda es peor que un Toyota. (H社の車はT社の車より悪い。)

14) Un Toyota : es malo. (悪い。)

Un Honda : es malo. (悪い。)

周知のように、mejor, peor はいわば más bueno, más malo の代わりに使われるのであるが、それらと逆の意味を表す一語の形容詞は存在しない。そこで、無理に表現しようとすれば15), 17) のようになり、そこでの絶対的な意味解釈は11), 13) と同様になる。

15) ? Un Honda es menos bueno que un Toyota. ²⁾

16) Un Toyota : es bueno, o es mal

Un Honda : es bueno, o es malo.

17) ? Un Toyota es menos malo que un Honda.

18) Un Toyota : es malo.

Un Honda : es malo.

次に、比較の基準値として数字が来る場合について考えてみる。初級スペイン語のテキストにはこのような場合 *más que* ではなくて *más de* が用いられると説明されているが、前者が用いられるケースがある。

19) Juan perdió *más que* un millón de dólares. (フアンは百万ドル以上を失った。)

例文19) が意味するところは Juan が *un millón de dólares* 「以外」のもの (例えば *casa* 家、*familia* 家族) まで失ったということである。

ここまで見てきたように比較的容易な学習項目であると考えられてきた *más que/de* 比較級も細かい点で注意を要することが分かる。

3. no más que/no más de

más que 構文が否定された *no...más que* 構文は、比較級の構文というよりは *no...más que* の部分を一種の熟語として *solamente* と同値であると通常教えられている。

20) No he traído *más que* mil dólares.

= *Solamente* he traído mil dólares. (私は千ドルしか持ってこなかった。)

一方 *más de* 構文を否定した *no...más de* 構文はそのような意味の特別化はなく、単なる否定文にとどまる。

21) No he traído *más de* mil dólares. (私は千ドル以上は持ってこなかった。)

← He traído más de mil dólares. (私は千ドル以上持ってきた。)

しかしながら、no...más que 構文でも比較の意味を保持した文 (例文22) や、solamente と同値、または否定された比較構文の両者に解釈し得る文 (例文23) が存在する。

22) Él no trabaja más que yo.
(彼は私以上に働かない。)

23) Nadie trabaja más que yo.
(誰も私以上に働かない。)
(私しか働くものはいない。)

また、no...más que 構文には比較を表すというより、「～とは別の～」と意味解釈出来る例文もある。

24) Para mí no hay más mujer que tú en el mundo.
(俺にとっておまえ以外に女はいない。)

25) No tienen más remedio que aguantarse.
(我慢するより他に術はなかった。)

Bolinger (1950)

no...más que 構文では、このように比較構文と一種の熟語としての構文が区別される。この構文が現れる場合、必ずしも solamente と置き換えられる訳ではないということは、スペイン語教授上重要ではないだろうか。

4. más que / más de

では次に más に続く前置詞 que, de の使い分けについて見てみよう。³⁾ 前の章で述べたように、más que と más de の使い分けは一見簡単そうに見える。しかし、いくつかの例文ではスペイン語話者インフォーマントの間でも意見の相違がある。以下、研究書の中で目にしたものを3例ほど取り上げる。

26) Este libro vale más (QUE/DE) lo que me pagaron.

(この本は代金以上の価値がある。)

27) Juan trabaja más (QUE/DE) los que tengan la misma edad.

(フアンは同年代の者よりよく働く。)

Miyoshi (1990)

28) La vida vale más (QUE/DE) una carta en la baraja.

(人生はトランプのゲーム以上の価値がある。)

Bolinger (1950)

これらの文はどちらの前置詞を使っても間違いというわけではない。では、全く同じ意味を有しているのだろうか。筆者はそうは考えない。むしろ、それぞれに独自の意味解釈が可能で含意している内容に違いがあると見なす。以下の章ではその解釈の違いについて考察する。

5. más de

まず、más de 構文について考えてみる。その前に数詞と同様の機能を持つ más について考察する。

29) Tengo un / dos / cien libros. (私は 1 / 2 / 100冊本を持っている。)

30) Tengo más libros. (私はもっとたくさん本を持っている。)

下線部を施した部分はすべて名詞 libros を修飾しているから見なす。そうすると次の文はどうだろう。

31) Tengo más de cien libros. (私は100冊以上本を持っている。)

名詞 + de + 名詞という構造を持っているのであるから前の名詞 más が主要部で後ろの名詞が補助部を形成しているとも解釈できようが、上の3例と同じく、下線部の部分が名詞 libros を修飾していると考えるのはどうであろうか。つまり、libros が主要部で más de cien の部分が補助部と考えるのである。そう考える方が正しい理由として、スペイン語の教科書より採取した次の例がある。⁴⁾

32) Peter Moore posee la mayor colección de obras de Dalí que se encuentra en manos privadas: más de 300 cuadros de los que 40 son oleos.

(ピーター・ムーアは個人所有のダリのコレクションのうち、最大の物を持っている。その数は300枚以上でそのうち40枚は油彩だ。)

(¿Qué dice el periodico? 岡田 & Álvarez p36)

つまり、関係節の部分のみを取り出すと、

33) 40 de los más de 300 cuadros son oleos.

(300枚以上ある絵のうちの40枚は油彩だ。)

のような解釈となり、関係代名詞 *que* が係る名詞句の主要部は *más* ではなくて *cuadros* であることが分かるからだ。

以上の議論が正しいとすると、34), 35) の下線部も同じ機能を持つ「数量詞」であると見なせる。

34) Vinieron 6 alumnos. (学生が6人来た。)

35) Vinieron más de 6 alumnos. (学生が6人以上来た。)

一方、下線部が分離した36, 37) はどうだろうか。

36) Vinieron 6 alumnos más. (学生が6人多く来た。)

37) Vinieron 6 alumnos de 10. (学生10人につき6名が来た。)⁵⁾

下線部をいわば分離数量詞として認めるならば、以下のものも同様に解釈できないだろうか。⁶⁾

38) Vinieron 6 alumnos más de lo que creía. (私が思っていたより6人多く学生が来た。)

39) Vinieron más alumnos de lo que creía. (私が思っていたより多く学生が来た。)

40) Tiene más dólares de lo que crees. (彼は君が思っている以上にドルを持っている。)

41) Trabaja más de lo que creíamos. (彼は我々が思っていた以上に働く。)

すると、あらゆる más de 構文は、比較構文というよりは基準量を含んだ構文ということになる。以下の章では、más que 構文と más de 構文の構造の違いを記述してみたい。

6. más que/más de の文構造

二つの構文の構造記述に入る前に、触れておかなければならないことがある。比較級の基準点に、lo que で始まる節が来るとき、*cacofonía* (不快音調) という音節的理由で que ではなく de が選択されるという説がある。これは、42) の例文が文法的であることから、まったく意味がない。42) で de ではなく que が選択される理由は、43) に示したように二つの文の程度を比較しているからであろう。

42) Lo que me escribió me molestó más que lo que me dijo.

(彼が私に書いてよこしたことは、私に言ったこと以上に私を傷つけた。)

43) Lo que me escribió me molestó. (彼が書いてよこしたことは私を傷つけた)

> Lo que me dijo me molestó. (彼が言ったことは私を傷つけた。)

同様に44) の文も45) に見るような二つの文の程度の比較であると見なすことができよう。

44) Juan trabaja más que antes. (フアンは以前よりよく働く。)

45) Juan trabaja. (フアンは働く。)

> Antes Juan trabajaba. (以前、フアンは働いていた。)

では、前々章でみた例文や46)のように、más que でも más de でも表されるものはどのように解釈すればいいのであろうか。

46) Es más docto que/de lo que algunos piensan. 三好(1990)

(彼は人が考える以上に教養がある。)

まず、que が選択される場合、やはり48)に見るような二つの文の比較であると考えられる。

47) Es más docto que lo que algunos piensan.

48) Es docto. >

Algunos piensan que lo [=docto] es.

それに対して、de が選択されるのは、50)に見るように下線部を施した部分が docto にかかる修飾部として機能し、一種の「分離数量詞」のような振る舞いをしているからであろう。

49) Es más docto de lo que algunos piensan.

50) Es más docto de lo que algunos piensan.

同じような意味解釈が51), 52) でも出来るのではないだろうか。

51) Estoy más confundido que antes. (私は以前よりも混乱している。)

⇒「比較」

52) Estoy más confundido de lo que estaba antes. ⇒「数量詞」

(私は以前混乱していた以上に今混乱している。)

次に、比較される二文の中に現れる動詞が異なる場合、通常 más que 構文は使われないとされる。

53) ?Gasta más que gana. (彼は稼ぐ以上に消費する。)

54) Gasta más de lo que gana. (Gasta más dinero del que gana.)

(彼は稼ぐ以上に消費する。)

54) の意味解釈は「彼は [もうける額以上のお金] を浪費する」ということになろう。

7. más del que/más de lo que

では、今度は más del (de la, de los, de las) que, と más de lo que の違いについて考察する。Butt, John and Benjamin, Carmen (1988) では次のような説明がなされている。

Comparison with a clause (más del que/más de lo que, etc.)

If a comparison of quantity (see preceding section) is made with a clause containing a noun or pronoun, the appropriate form of más/menos del que must be used:

Has traído menos aceite del que necesitábamos

Gasta más dinero del que gana.

(Gasta más de lo que gana.)

If comparison is made with a verb phrase, de lo que must be used.

Son más inteligentes de lo que parecen.

Lo hicieron menos bien de lo que esperábamos.

Butt and Benjamin (1998) と同様の主張が笠井鎮夫先生の「スペイン語 4 週間」にも見られる。

節の要素が名詞であるなら、del que, de la que 等で受け、形容詞か、あるいは副詞であるなら de lo que で受ける。

以上の説明は節内の要素が、名詞かそれ以外かに着目しているわけだが、下の55), 56) に見られるように、同じ dinero という名詞が現れているに

も拘わらず、後続する部分は *más del que* と *más de lo que* というふうに異なっている。

55) *Él ya ha gastado más dinero del que entrará en su cuenta de banco.*

(彼は銀行口座に振り込まれる額以上の金をもう使った。)

56) *Tiene más dinero de lo que crees.*

(彼は君が想像する以上に金を持っている。)

結局、*más del que* と *más de lo que* の選択は後続する文の動詞に依存するのではないだろうか。つまり、*creer*, *pensar*, *parecer* など意見、予想を述べる時に使われる動詞が現れる場合のみ *más de lo que* となるのである。

8. 結語

以上の考察から、以下のように結論づけたい。

① *más que* 構文は *que* を介して二つの文を比較 (*comparación*) する構文である。ただし、*más que* が熟語的に使われている例文も数多くあり、そこでは比較の意味は希薄である。

② *más de* 構文では、*de* 以下が *más* の部分を修飾する程度 (*grado*) 表現である。そして *más...de...* 全体で数量詞を形成する。

では、最初に戻って、筆者がかつて誤って作った文 1) は、まったく意味の無いものなのであろうか。「ファンは [私が持っている本より多い] 本を持っている」という意味解釈をしたのだから、*más de* 構文が使われることになる。

57) **Juan tiene más libros de los míos.* (彼は私のよりたくさん本を持っている。)

工夫をこらしたにも拘わらず、やはり非文法的な文が出来てしまった。しかし、あるスペイン語話者の指摘によると、57) と同じ構造を持つ58) は全く正しいという。

58) Juan tiene más libros de los que hay en la Biblioteca Nacional. ⁸⁾

(フアンは国立図書館にある本よりも多くの本を持っている。)

これらの文の対から、以下のように考えられるのではないだろうか。すなわち、más de 構文の程度の比較の基準になる語句は、それなりの価値をもっていなければならない。上の例では国立図書館に多くの本が所蔵されているのは周知である。「その多数の蔵書以上の本をフアンが持っている」と言うのは十分動機付けられた発話であるのに対し、「(普通の人間である) 私が持っている (特別多くもない) 本」以上という基準は、意味のない程度基準になるのであろう。

さらに以下の2文を比べてみよう。

59) Juan tiene más libros que yo.

(フアンは私よりたくさん本を持っている。)

60) Juan tiene más libros de los que tengo yo.

(フアンは私が持っている以上にたくさん本を持っている。)

どちらもフアンの蔵書の方が自分の蔵書より多いという意味を表すが、60) の方は、自分もかなりたくさん本を持っているということを含意する。ここでも基準になる量は、発話するに値するだけの意味を持っていないといけないと言うことが出来よう。

比較表現はロマンス諸語の間で様々なバリエーションを呈しており、今後比較研究するには面白いテーマであると思われる。⁹⁾

注：

- 1) *は文法的適格性を欠くことを示す。
- 2) ?は不自然な文であることを示す。
- 3) 研究者によっては de は前置詞だが、que は接続詞であると見なす人もいる。
- 4) 江澤照美氏 (関西スペイン語学研究会) のご指摘による。
- 5) この文とは異なり、定冠詞を伴う次の文はをとった文は分離数量詞とは見なさない。

Vinieron 6 alumnos de los 10.

(彼ら10人の学生のうち6人がやってきた。)

つまり

6 alumnos de los 10 alumnos

という構造で、前置詞 de は「～の内で」という意味を表すと考える。

6) 英語にも分離数量詞が認められる。

6 students in 10

6 students out of the 10

7) ポルトガル語では、比較級はいつも mais que, または mais do que が区別なく使用できると言われているが、二つの文の比較の場合、両方に動詞が現れると後者の方が好ましくなる。

Ele é mais talentoso (do) que ela.

Manuel é mais estudioso (do) que inteligente.

* Você fala português mais corretamente que imagina.

Você fala português mais corretamente do que imagina.

8) この文のポルトガル語訳ではもちろん mais do que 構文を使わなければならない。

João tem mais livros do que os que tem a Biblioteca Nacional.

9) イタリア語に関して、Napoli & Nespor (1976) は次のようなデータを示している。

Maria è più intelligente di quanto è Carlo.

Maria è più intelligente di quanto non sia Carlo.

* Maria è più intelligente che è Carlo.

Maria è più intelligente che non sia Carlo.

? Maria è più intelligente que Carlo.

È più studioso che (non) intelligente .

参考文献：

Bolinger, Dwight L. (1950) The Comparison of Inequality in Spanish.

Language Vol.26<28-62

Butt, John and Benjamin, Carmen (1988) *A New Reference Grammar of Modern Spanish* London, Edward Arnold

De Mello, George (1977) "Que "and "de" as Translations of "Than",
Hispania 60, 510-511

- 原誠 (1990) スペイン語は変わった, *HISPÁNICA* 34, 113-127
- 三好準之助 (1989a) Expresiones de alternatividad con el comparativo más
関西スペイン語学研究会、口頭発表
- 三好準之助 (1989b) 不等比較表現と計測比較表現, SELEK89、口頭発表
- 三好準之助 (1990) 現代スペイン語の不等比較表現の研究、
京都産業大学論集19-3, 198-279
- Miyoshi, Junnosuke (1990) Construcción: más que/de el (～, lo) que,
Lindüística Hispánica 1990, 35-43
- 三好準之助 (1991) Construcción: más QUE/DE EL (～, LO) QUE
関西スペイン語学研究会、口頭発表
- Napoli, Donna Jo & Nespor, Marina (1976)
Negatives in Comparatives, *Language* Vo.52, 811-838
- Sole, Yolanda R. (1982) On más/menos.....que versus más/menos de
comparatives, *Hispania* 65, 614-619
- 富野幹雄・高橋都彦 (1974) ブラジル ポルトガル語の入門、白水社

やました よしたか (留学生センター日本語教育部助教授)

On Spanish comparative constructions: *más que* and *más de*

YAMASHITA, Yoshitaka

In Spanish there are two types of comparative construction corresponding to the English more than: más que and más de. In this article I treated them from the semantic and syntactic points of view.

First I explained the semantic connotations of más que and menos que sentences. Second I compared no ... más que and no ... más de constructions. In the following section I proposed a quantitative interpretation of the más de structure, as opposed to the más que structure. That is to say, the más de phrase has the same function as normal quantifiers like uno, dos, mucho or just más.

Juan tiene un libro.

Juan tiene muchos libros.

Juan tiene más libros.

Juan tiene más de cien libros.

Juan tiene más libros de lo que crees.

Finally based on this interpretation, I analysed más ... del que and más ... de lo que structures and concluded that the former is a pure comparative construction and that the latter is an expression with a separated quantifier.